

社団法人 地盤工学会

平成21年度 第2回 事業部会

議 事 録

日 時：平成21年6月8日（月）15：00～17：00		会 場：鹿島建設株本社会議室	
部 長 古 屋 弘	○	理 事 李 圭 太	○
部 員 清 木 隆 文	○	部 員 竹 山 智 英	×
部 員 津 野 究	○	部 員 王 林	×
部 員 原 忠	○	部 員 中 野 正 樹	×
ワザパー小林恒三	○		
ワザパー小西真治	○	ワザパー阿部知之	○
ワザパー吉迫和生	○		
ワザパー竹山悦子	○		
事務局 下山礼子	○	事務局 古藤田純	○

(議事録作成 清木 隆文)

【議 題】

一般事項

《報告・確認事項》

1. 部長挨拶・自己紹介……………(別紙-1)
 - ・古屋理事兼事業部長から本会議が新旧委員の交代の機会であることが説明された。その後、名簿にしたがい、各自自己紹介を行った。
2. 議事録者の指名……………(別紙-2)
 - ・清木部員が指名された。
3. 前回議事録の確認：事業部会（4/21）……………(別紙-3)
 - ・資料に従って確認された。
4. 理事会報告（4/24、5/15、5/28）……………(別紙-4)
 - ・古屋理事兼事業部長から資料に従って報告された。
 - ・公益法人化の件
 - －5/28 の通常総会で公益法人への移行を提案し、8月の臨時総会で承認を得る。有休財産の処理方針を決めていく。
 - ・調査研究部
 - －60周年記念DVDが会員限定の販売であることが紹介された。
 - ・広報関連報告
 - －学会本部内での無線LANの使用禁止となったことが報告された。
 - ・事業部
 - －2008年度の書籍販売キャンペーンは、効果があった反面、買い控えが起こっているため、このキャンペーンを実施する場合には特に注意して継続することが要望として出された。
5. 平成20年度事業部収支報告（4月末現在）……………(別紙-5)
 - ・事務局(下山課長)から資料に基づいて説明がなされた
 - －現時点では、一般会計事業収入が0.2%となる予定であるが、1か月遅れの売り上げ高更新となっているのが理由である（資料18-1）。
 - －刊行事業予定が本来8%程度望まれるのが5.4%である。（資料18-2）。
 - －5月時点で事業部、基準部の刊行事業の売上 11%。（昨年度よりも低い）（資料18-3）
 - －新刊本①～⑥発刊済み、⑦～⑨が発刊予定（講習会はすべて実施。昨年度実施分も含む）。⑤は、昨年出版予定、今年度の予算を消化して98%となった。⑦は、予算は250部であるが100部程度既に売れている。⑨の出版については、過程を見守る。
 - －丸善関連では、「土質試験の基本と手引き」が85冊売れた代わりに、484冊返品の影響で、5月の売上が63冊となっている。
- ショッピングカート改善スケジュール……………(別紙-6)

- ・事務局(下山課長、古藤田)から説明がなされた。
 - 講習会の開催と関連書籍の表示を同時に行うように依頼したが、そのとおりになっていない。確認する。
 - ・古屋理事兼事業部長からショッピングカートのあるべき姿について、説明がなされ、6月末までにシステムが組んで頂けるように、作成会社に、交渉することになった。
6. その他
- ・なし

出版企画委員会

- ・前回事業部会から開催なし。

《報告・確認事項》

《審議事項》

- ・なし

技術普及委員会

《報告・確認事項》

1. 前回議事録の確認 (5/21) ……………(資料なし)
 - ・議事次第にあった(別紙-7)に相当する資料の準備が、本部会に間に合わなかったため、次回持ち越しとなった。
2. 60周年記念講習会「我が家を地震と水害から守る」……………(別紙-8)
 - ・小林部員より別紙-8の内容をA4用紙1枚に取り纏めた当日配布の資料をもとに、説明された。
 - 講師が片山氏から、河合氏に交代することが補足された。
 - 江戸川区の水害対策の講師が未定で、古屋部長が交渉を進めた結果、山田正氏(中央大学)に決定。テーマを「都市の水害と対策」とする。
 - 講師の謝礼、交通費などの予算案の修正が報告された。
 - 日経コンストラクションなどの記者に取材に来て頂く準備を進めている。
 - 8月24日より早い時期に、各講師の間で、意志統一を図り、今回のイベントの実施計画を周知する。
3. 平成21年度講習会コース制に関する検討……………(別紙-9)
 - ・古屋理事兼技術普及委員会委員長から、資料が既に会告に掲載されたので、報告事項と位置づけ、報告がされた。
 - CPD 72pt以上で1つのコース終了。複数コースの選択が可能にしたことが説明された。
4. PR対策(平成20年度アンケート結果を受けて)……………(別紙-10)
 - ・事務局(古藤田)からの報告資料に従って報告がなされた。
 - 講習会アンケートの結果から基礎工の広告を見て参加する方が、全体の0.4%であった。年間37万円かかる隔月の基礎工への広告費の効果についての疑問が報告されたが、しばらく静観することになった。基礎工の広告欄に、基礎工の読者層に見合った新刊本の広告を載せる方向で検討する。

《審議事項》

1. **平成21年度講習会企画(案)**……………(別紙-11)
 - ・古屋理事兼技術普及委員会委員長が資料に従って説明し、審議され、了承された。
 - 「建設工事における環境保全技術」、「わかって使うFEM」講習会、「建設・産業副産物の地盤工学的有効利用」講習会の開催の審議を行った。
 - 「わかって使うFEM」講習会の参加者は、コンサルの方が多く、昨年度は25名であったとの回答がなされた。また、9月30日の飯塚先生(神戸大)から橘先生(埼玉大)に講師が交代することが報告された。会社や各機関の上部に宣伝し、参加者を確保する必要性が確認された。
2. **オンデマンド講習会**……………(別紙-12)
 - ・古屋理事兼技術普及委員会委員長から、資料に従ってオンデマンド講習会の主旨について説明がなされ、「インターネット利活用事業の協同推進契約書」の内容について審議し、不明、修正箇所が確認された。修正、確認、追記の後、再度メール審議されることになった。
 - オンデマンド講習会は、講師が講習会で作成したPPTを画面に示し、講師の説明が音声で流れるコンテンツを作成し、DVDで任意の時間に見られるようにする内容が紹介された。この著作権は学会に帰属することが確認された。また、契約書の覚書の内容で、コンテンツ制作代は久保田情報技研が負担し、個人講習会費の60%を久保田情報技研、40%が地盤工学会の収入比率となることが説明された。また、支部に貸し出す際、コンテンツの貸出費を1万円としていることが説明された。
 - 事業運営上の細目を作成する。
 - 契約書の第4条(2)「事業収益の一部を業務委託作業費とする。」の記述に気をつける。

- 一本契約書名について、弁護士に確認する際、第6条 (1) ②、③について説明を受ける。
- 一契約書は 総務部→ 理事会で諮るが、弁護士の意見を反映させることが確認された。覚書、細目などは事業部会で審議することになった。

販売促進・企画WG

《報告・承認事項》

なし

審議事項

1. 会務分担について……………(別紙-13)

- ・古屋理事兼事業部長から該当する会務について説明がなされ、審議ののち、以下のように決まった。
 - 一広報委員会に委員を派遣するかどうかを検討し、委員を派遣して頂くようお願いすることになった。
 - 一表彰委員会 1名竹山(智)部員を留任とし、もう一名に中野部員を選出した。
 - 一支部担当(関西)に原部員を選出した。

2. 事業企画賞に関する表彰方法について……………(別紙-14)

- ・古屋部長の説明で、p44の資料に従って、表彰委員長からの要望が説明され、会議からの意見を集約したのち、表彰委員会担当に素案の作成することになった。
 - 一選考者を事業部員以外から募る。
 - 一表彰委員会の良いところを取り入れる。たとえば表彰内規を参考にする。
 - 一選考者の人数を、関係者を外して、人数を決める。
 - 一丸善の方、雑誌の編集者の方など、まったくの部外者を入れて、委員からの提案に拒否権を与える。
 - 一毎年の表彰件数を決める。
 - 一原則として、本部、支部の受賞枠を決めるが、該当する内容の善し悪しによって変更する。
 - 一委員会報告書が推薦される場合もあるので、委員会活動の評価を反映させるような仕組みを検討する。
 - 一審議過程を明確にする工夫を行う。経緯、背景などをWebに載せるなどを検討する。

3. 今後の部会運営について

特になし。

その他

1. 次回以降事業部会開催日について

・7/14 (火)、9/15 (火)、11/17 (火)、1/12 (火)、3/9 (火)、4/27 (火) の予定

2. 次回理事会(臨時7/24(金)への提案事項の確認

報告事項

- ① 60周年記念講習会「我が家を地震と水害から守る」
- ② 平成21年度講習会企画(案)

審議事項

- ③ オンデマンド講習会

3. 次回以降事業部会開催日：次回開催日(偶数月)について

次回の事業部会は**7/7 (火) 15:00-17:00** (JGS会館) となった。

■理事会開催予定日

21年度：7/24 (金)、9/25 (金)、11/27 (金)、1/22 (金)、3/19 (金)、4/23 (金)、5/14 (金)、総会5/27 (木)

5/28 主な理事会承認事項

- ・特になし。